

## 2022年度 第6回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2023年 3月 24日(金) 13:00~14:30
2. 開催場所 : 株式会社東北新社 会議室 (東京都港区赤坂 4-8-10)
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 5名  
出席委員の氏名 : 小池保 委員長、渡辺祥子 委員、渡辺純一 委員、藤森益弘 委員、田久保敏 委員  
欠席委員の氏名 : 谷口恭子 委員、横山宗嘉 委員

放送事業者側出席者氏名 :

<株式会社東北新社メディアサービス>

漆原 弘子 代表取締役社長、茂登山 皓勇

<株式会社ザ・シネマ>

榎本 豊 ゼネラルマネージャー、小林 淳

4. 審議対象チャンネル: ザ・シネマ HD

5. 議題 : 番組審議

<審議対象番組>

- ・ 新録吹替 映画『セント・エルモス・ファイアー【ザ・シネマ新録版】』

6. 審議内容

- ・ この映画の舞台であるジョージタウン、また 1985 年前後という時代背景を掘り下げたプロモーションがあっても良かったのではないか。
- ・ これまでの作品選定と比べて、今回はセレクトも良かった。必然性もあり企画意図が全うされた、というところでは良かった。それをいかに伝えるか、ということかと思う。
- ・ 洋画視聴においては原語での視聴が基本、ということからすると、お客さんにすり寄っている感じも否めない。一方で「吹替しか見ない」という層も大勢いる。
- ・ 吹替が良い人、字幕が良い人と多様性がある中で、ザ・シネマとして吹替を制作する以上は、ザ・シネマが考える「コンセプト・企画性」が最も大事だと考える。
- ・ 今作では、依田孝利氏の演出は良い点があったと思う。しゃべり方、声のトーンが、出演者の性格に合わせるように作られていたと感じるところがあった。
- ・ この映画がその後の日本のトレンドドラマに大きく影響を与えたことは、その年代の人たちには意識されるどころ。そういうところの切り口はあったのかどうか。

<事業者回答>

- ・ 作品への反響としては、この時代の作品を取り上げたこと、声優のセレクトについては好評であった。
- ・ トレンドドラマへの影響があったことについては意識したところ。同年代のタレントさんのコメントをもらうなど、そこを意識したプロモーションを行った。

- ・ 頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上